

各 位

上場会社名 ローヤル電機株式会社  
 代表者 代表取締役社長執行役員 佐藤 和義  
 (コード番号 6593)  
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 鮫島 弘一  
 (TEL 03-5424-1860)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,803	182	200	153	36.63
今回修正予想(B)	2,472	57	66	△1,213	△288.68
増減額(B-A)	△331	△124	△134	△1,367	
増減率(%)	△11.8	△68.3	△66.8	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	2,855	214	211	108	25.65

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,952	530	564	437	103.97
今回修正予想(B)	4,980	127	148	△1,168	△277.89
増減額(B-A)	△971	△402	△415	△1,605	
増減率(%)	△16.3	△75.9	△73.6	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	5,561	343	390	341	80.77

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,634	75	96	57	13.79
今回修正予想(B)	1,554	83	119	△1,156	△274.98
増減額(B-A)	△79	8	22	△1,214	
増減率(%)	△4.9	10.8	23.5	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	1,911	159	185	94	22.56

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,602	314	354	244	58.06
今回修正予想(B)	3,147	123	179	△1,098	△261.39
増減額(B-A)	△454	△191	△175	△1,343	
増減率(%)	△12.6	△60.7	△49.5	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	3,584	236	284	232	55.06

## 修正の理由

### (個別業績予想)

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、顧客の在庫調整による買い控え影響により、1,554百万円の見込みとなりました。

利益面につきましては、経費節減努力が寄与し、営業利益83百万円、経常利益119百万円と前回予想比で増益の見込みとなりました。四半期純利益は、平成24年10月26日付け「債権の取立不能のおそれに関するお知らせ」で公表しましたワシ興産株式会社に対する1,200百万円の貸付金について、小野グループ子会社の株式を担保として提供を受けておりましたが、ワシ興産株式会社を含む小野グループ3社の会社更生手続き開始の申立てを受け、債権の取立不能のおそれが生じ、担保価値についても毀損のおそれがあると判断した結果、特別損失として貸倒引当処理を行うため、四半期純損失は1,156百万円の見込みとなりました。

なお、本貸付金は、小野グループの1社でBBSブランドの車輛用ホイール販売会社である日本BBS株式会社との将来的な統合を睨んだ事業再編資金の一環としての戦略的な資金使途であり、のちに独BBS(BBSインターナショナル)社のモータースポーツ部門、鍛造ホイール営業部門と商標権を買収(2011年11月30日買収発表)する構想であったワシ興産株式会社に貸し付けたものです。

貸付金の経緯に関しては、以下の通りです。

2011年9月に独BBS社の買収構想に関連して6億円をワシ興産株式会社に貸付したことを皮切りに、極度貸付契約のもと、短期資金の貸付を行いました。ワシ興産株式会社が前述の独BBSに関わる買収を11月末に発表して以降、本格的に買収後の統合計画が動き出しました。当社は2012年初めに日本BBS株式会社との統合のための買収監査を実施し、2012年3月末時点では4億円の貸付残であったが、今第1四半期に6億円と拡大してきた為、貸付の担保を要求し、のちに担保となる小野グループ子会社1社の株式を第三者機関による資産査定のもと、受領しました。第2四半期に入り、独BBS買収に伴い、全世界への販売を目的とした事業資金ニーズがあるとして、第2四半期の9月末時点では、12億円の貸付残と増加しました。当社としましては、10月26日のワシ興産株式会社を含む小野グループ3社の会社更生手続き開始の申立てを受け、当該貸付金に見合うと認識して保有しておりました担保の価値が毀損するおそれがあると判断し、このたび、貸倒引当処理を行うことを決断致しました。なお、今後、当該債権の回収をすべく、担保として受領した小野グループ子会社1社の企業価値に関する調査等を行ってまいります。

通期個別業績予想につきましては、世界景気の低迷や主要顧客の経営環境悪化の影響を受け、当第2四半期累計期間の業績予想の状況を踏まえて当初予想を見直した結果、上記のとおり修正いたします。

### (連結業績予想)

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、自動巻線機事業の大型案件の納期が翌四半期以降にずれ込んだことなどにより、売上高は2,472百万円と減収の見込みとなりました。

利益面につきましては、売上減の影響、特に、利益率の高い自動巻線機事業の納期ずれ込みにより売上高の減収により営業利益57百万円、経常利益66百万円の見込みとなりました。当期純利益につきましては、個別業績予想に記載のとおり特別損失として貸倒引当処理を行うため、四半期純損失1,213百万円となる見込みとなりました。

通期連結業績予想につきましては、不透明な要素が多いながら、当第2四半期累計期間の業績予想を踏まえて当初予想を見直した結果、上記のとおり修正いたします。

以上